

第55回 佐賀県中学校総合体育大会



感謝の気持ちで全カプレー!!



発行所
佐賀市与賀町 1-24
佐賀県PTA連合会
☎0952-22276
印刷 佐賀印刷社

発行責任者
会長 江田 明弘

語り合おう!
「家庭の日」
(毎月第二日曜日)



中原中
猪俣 洸生

私達野球部は、九州大会出場を目標に頑張ってきました。九州大会で勝つために部員全員が一日一日の練習を大切にして、競い合いながら過ごしてきました。中総体では、今までやって

きた事を全て出し切ります。そして、今まで支えて下さった先生方、保護者の方々への感謝を忘れず悔いがない試合をします。最後まで野球を楽しみ、最高の仲間と最高の試合をしたいです。



城東中
前田 一紗葵

私達女子バスケットボール部は県ベスト四を目指し、練習を頑張ってきました。顧問の先生や、保護者さん、沢山の方に支えてもらいながら中体連を迎えることが

できました。その中体連では感謝の気持ちを忘れず、私達城東女子バスケットボール部のスローガンである「走り勝て」を目標に、部員十九名全員で声を出し、全力でプレーします。



みらい学園
池田 桃花

私たちバトミントン部は少ない練習の中で団体はベスト四、個人戦はベスト十六以上を目標に日々の練習を頑張ってきました。私たちが本気でバトミントンに取り組めたのは、今まで指

導して下さった先生方、先輩、支えて下さった多くの方々のおかげです。思うような結果は出せなかったけれど、持っている力を出し切り、悔いのない試合ができました。今までありがとうございました。



西有田中
池田 慎平

僕たち男子バレーボール部は、キャプテンを中心に、チーム全員一丸となって、県大会優勝を目指して頑張っています。

昨年、昨年は啓成中に敗れてしまいました。とても悔しい思いをしました。でも、悔しさをバネに、この一年、チームワークを高めてきました。レシーブもスパイクもよくなってきたと思うので、先生や応援してくださる保護者みなさんに感謝し、最後の中体連を楽しみたいと思います。



山内中
山崎 彩也香

私達ソフトテニス部は、地区大会で優勝し、県大会に出場することを目標に日々の練習を頑張ってきました。時にはすれ違うこともたくさんありましたが、

悔しくて涙したときも、嬉しくて笑い合ったときも、いつもそばにいてくれるそんな仲間達と、今まで支えて下さった先生方や先輩、後輩、そして保護者の方々に感謝し、私達らしい元気なプレーで悔いの残らない試合にします。



西部中
山口 慶大呂

僕たち西部中野球部は、九州大会進出を目標とし、全力で練習に取り組んできました。秋の大会では全く勝てませんでした。冬場のトレーニングに取り組ん

だ結果、体力が付き、春の大会では勝てるようになりました。春の県大会でベスト8で負けてしまった悔しさをバネにここまで頑張ってきました。中体連では今まで練習してきた自分たちを信じて一戦一戦を大事に戦っていききたいと思えます。



嬉野中
宮崎 愁斗

僕たち嬉野中サッカー部は、全国大会出場を目標に毎日の練習の積み重ねや、日頃の生活態度の向上がよい結果に結びつくことを信じ日々努力してきました。

中体連では、熱心にご指導して下さいました先生、普段から精一杯応援して下さいている皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、少ない人数だからこそ大事にしてきたチームワークで一戦一戦を全力で戦い抜き、勝ち進みたいと思います。

第55回 佐賀県中学校総合体育大会 成績 覧表

競技名	1位	2位
空手	江北中	多良中
団体形 男子	江北中	多良中
団体形 女子	鳥栖西中	田代中
団体組手男子	江北中	城東中
団体組手女子	鳥栖西中	田代中
バドミントン	七山中	大和中
男子	大和中	第一中
女子	大和中	第一中
テニス	附属中	致遠館中
男子	附属中	第一中
女子	致遠館中	第一中
ハンドボール	神埼中	中央校
男子	神埼中	中央校
女子	神埼中	中央校
体操	鳥栖中	鳥栖中
男子	鳥栖中	鳥栖中
女子	田代中	鳥栖中
新体操	神埼中	鍋島中
男子	神埼中	鍋島中
女子	神埼中	鍋島中
水泳	鍋島中	昭栄中
男子	鍋島中	昭栄中
女子	小城中	北茂安中
陸上競技	小城中	北茂安中
男子	小城中	北茂安中
女子	小城中	北茂安中
軟式野球	小城中	有明中
男子	小城中	有明中
女子	小城中	有明中
バスケットボール	大和中	武雄中
男子	大和中	武雄中
女子	大和中	武雄中
ソフトボール	大和中	武雄中
男子	大和中	武雄中
女子	大和中	武雄中
卓球	三日月中	第一中
男子	三日月中	第一中
女子	三日月中	第一中
柔道	昭栄中	三日月中
男子	昭栄中	三日月中
女子	昭栄中	三日月中
剣道	昭栄中	三日月中
男子	昭栄中	三日月中
女子	昭栄中	三日月中
相撲	大和中	神埼中
男子	大和中	神埼中
女子	大和中	神埼中
サッカー	東部中	昭栄中
男子	東部中	昭栄中



我が家は三人の子供がいる。第一子の時は、初めてのランドセル購入にあたり、俄然、親も祖父母も、力が入った。あれこれと見に行き、品数の多さに圧倒された。第二子、種類が少なめであったが、カスタマイズ出来る物を見付け、またもや盛り上がった。第三子、最後のランドセルと思い、意気揚々と出かけた。上の子の時と比べて色どりも増し、楽しもうとした矢先、あつという間に子どもが即決。ランドセルタイムは終了となった。

一年生から六年生への成長は凄いものがある。第二子の卒業式は入学式に撮った写真と全く同じ先生と同じアングルで写真を撮る事が出来た。先生の身長を追い越し、体からはみ出していたランドセルは肩の部分しか見えなくなっていた。もちろん顔つきも違う。

小学校の間は毎日が忙しく、成長を顧みる事は少なかった。卒業式の最後のランドセル姿の写真を見て「大きくなったなあ」とありきたりな感想と共に、何となく置いていかれる様な寂しさもあった。「大きかったランドセルがこんなに小さくなって。」などとよく言ったりする。でも本当は子どもが大きさが変わっているのだ。

買う時は子育て真っ最中。子どもへの親の関わりも大きい。ランドセルを使わなくなる時は子離れ第一歩といった所だろうか。まだまだ頼りない部分もあるが、ぐつとこらえて出した手をひっこめないとけない。いつまでも、初めてランドセルを背負った小さな子どもではないのだ。

これから子離れの第二步、第三步を迎えるだろう。それを無事に乗りこえられる様、心の中に、可愛かった姿を大切にしまっておこう!

鳥栖小P 宮原美苗江

「つこを育てよう！」

困難を乗り越える子どもを育てよう～



講演Ⅰ 講師

ひらまつ 比良松 道一様
九州大学持続可能な社会のための
決断科学センター准教授・農学博士

演題 「忙しい家庭にこそ必要な(弁当の日)」
～子供たちの健全な心身の発展を目指して～

講演Ⅱ 講師

そえだ 副田 ひろみ様
(フリーアナウンサー)

演題 「親子のきずな」～育児にゴールはない～

今年の母親研修会は、予定を大幅に超える一四九名もの参加を得て開催されました。講演に先立って「子育て応援メッセージ」を皆で唱和して確認しました。



講演Ⅰは比良松道一先生の講演でした。自分のゼミの学生を対象にした食事調査の結果に危機感を待たれたい学生に「弁当の日」の取り組みを実践されました。四苦八苦しながら弁当を作り持ち寄りみんなで食べあう活動の中で、学生たちは、弁当を作る技術の進歩はもちろん、忘れかけられようとしている「和食」の伝承を再認識するようになりました。また、母親への感謝の気持ち、自分の苦勞を友人と共有することにより、思いやりの気持ちを持つようになったとの講演でした。学生さんたちや関わりを持たれている小学生の皆さんの「弁当の日」をめぐる心温まる成長の話に驚いたり、感動したりのご講演でした。

講演Ⅱは副田ひろみ先生でした。やわらかい声で、ご自分の人生経験をもとに、子育てについて語られました。実際の体験からくる一つ一つの言葉が心に沁みこみました。また、様々な詩や絵本の朗読の中から、忘れかけている親子の気持ちのつながりを改めて感じさせられました。ふと我に返り自らの生き方を顧みる時間を与えていただくことができました。



田代中P 岩尾 如可

今年の講演は食の話と聞いて、正直「他でも聞いたな」と思いましたが、比良松道一先生のお話はとても興味深いものでした。

九州大学の学生の食生活を調査すると、朝食は抜くかお菓子、昼食はパンや麺類、夕食も野菜がないなど、一汁三菜どころか、手作りの食事が見当たらない。驚いた先生が

さらに調べると、結果「お金が無い」という生活事情が判明。コンビニ、学食利用↓お金がかかる↓食事を減らす、抜く、この実態を招いた原因は、食事を作れないからだと思いき「自炊塾」を始められました。

食事を作れる事は、生きる為、凝った料理でなくても、ありきたりでもいい、作ってあげるのでは無く、生き抜く為の食事を作れるように導いてあげるのも親の務めだと感じました。



仁比山小P 黒田志津恵

研究テーマ「子どもの根っこを育てよう!」。今回の研修では、子どもの根っこを育てる母親の根っこに栄養をもらうことができました。子どもが一人で暮らしていくための知恵や技術を身につけさせているのか、体の

の栄養になるだけではなく、心を育てる食事を出せているのか、愛情と厳しさのバランスはとれているのか。二つの講演を聴きながら、自問自答しました。

答えはまだ出ませんが、良い答えにつながるよう、子どもと向き合っていくことだと思います。



三日月中育 松島 育代

今回の研修会のテーマ、子どもの根っこを育てよう。

午前と午後に講演がありました。講師の比良松先生はご自身の九州大学の学生の食生活を例に、日本の農業から子どもたちの未来の食生活他様々なお話をしてくれました。



三根中P 大川さつき

「子どもが作るお弁当の日」のお話が印象に残っています。子どもが料理をすることで、作り方を母や祖母に聞き、色々な会話が生まれます。便利になり、食事をコンビニで済ます若者が多くなっている

今、自分で調理をしてみる、大事なことだと思えました。我が家でも中学生の娘が、自分で食事をすることがあります。食材をどう食べるか、味付けをどうするかを考えながら調理をしているようでした。これからも、色々な情報を見て聞いて続けていってほしいと思います。



鍋島中P 山口恵理香

今年度の母親研修会、テーマに沿った講演は2講演ともに涙を我慢するのに大変でした。

比良松道一さんの講演は、お弁当作りのお話でした。うちにも高校の娘と中学の息子がいますが、あの子達にお弁当を作らせたらと思うとぞつとしました。やりたい時にや

副田ひろみさんの講演は、親子のつながり、きずなを考えさせられました。今だから出来ること、今しか出来ないこと、子ども達への接し方を改めて考えるいい時間でした。毎日をなんとなく過ごしていた私の心にぐつと来るものがありました。

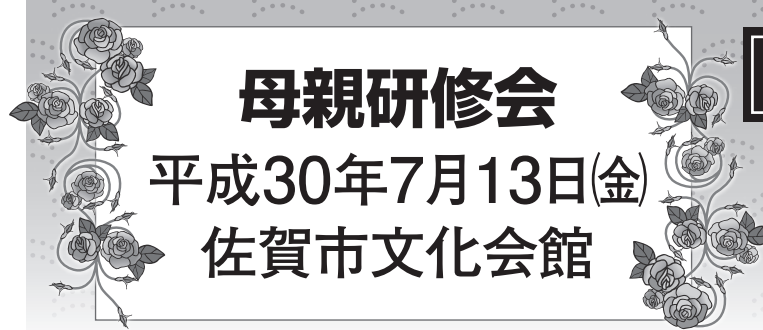


中央校P 野中加恵子

今回、母親研修会に初めて参加し、とても良い学びとなりました。比良松先生のご講話は、お金を出せば色んなものを簡単に食べられる環境の中で、つい楽をしてしまっている自分を、振り返ることができました。日本食を子供たちに伝えられるのは私なんだと思いき、また、積極的に子供と

調理に取り組み、失敗を恐れずに子供たちにさせてみたいと思えました。副田ひろみさんのお話で、沢山の詩を通して、素敵な言葉を頂きました。私は、言葉を伝えることが下手なので詩を伝えることは、とてもいい方法だと思いき、私も、真似してみようと思えました。それと、言葉の裏にある心をいつも感じられる私になりたいです。今回は、ありがとうございました。





母親研修会

平成30年7月13日(金)
佐賀市文化会館

研究テーマ

「子どもの根」

～優しく・思いやりがあり、



佐志中P
石山 恵美

今年のテーマは「子どもの根」を育てよう「優しく思いやりがあり、困難を乗り越える子どもを育てようでした。時代に流されていく日々、改めて子どもたちに関わる大切さを学ぶお二人の講演でした。



大坪小育
田中 真紀

子どもの頃にたくさんの本と触れ合う事は、とても大事です。副田さんの愛情あふれる朗読には、胸が熱くなりました。娘が通っている大坪小学校は、親と子どものふれあいの時間として「うちどっこ」を



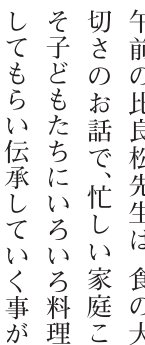
西有田中P
岩永真求子

今年の研修テーマは子どもの根「こ」を育てよう！始まる前からワクワクしていました。午前中は九大農学部副田比良松先生で、学生と自炊塾を開いているとの事。親は子どもにできない事をできるように



川登中P
古瀬 直美

比良松道一先生には「弁当の日」を通しての大切な事を教えていただきました。自炊をする事により食文化の伝承につながり、手料理を振る舞う事で人に感謝され人とのつながりを深められる事など興味



大町
ひじり学園P
中尾 瞳

午前の比良松先生は、食の大切さのお話で、忙しい家庭こそ子どもたちにいろいろな料理してもらいたいと伝承していただく事が大事だと。午後の副田ひろみ様は、朗読を交えてのお話で美しいお声の講演でした。当たり前前の普段の日常を、有り難く思い感謝しながら、子どもたちと関わり、過ごしていきたいです。



古枝小P
小森 直子

比良松先生の「忙しい家庭にこそ必要な弁当の日」の講演を聞き、毎日必ずある食事を子どもたちと楽しく過ごす為に、子どもたちが大人になった時に、健康で生き生きと過ごす為に、今私達が出来ることについて考



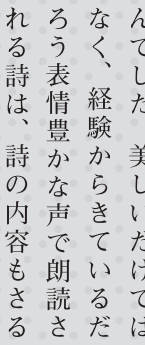
大草野小P
末永 香織

今年度の研修会は、「子どもの根」を育てよう！を研究テーマに掲げ、二名の講師をお迎えし、それぞれ違った観点からお話を聞くことができました。



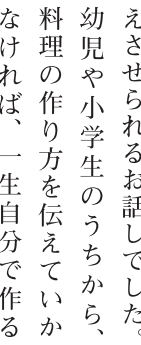
比良松先生

深いものでした。副田ひろみ先生の「親子のきずな」では日々の子育てや日常生活で忘れがちな幸せに気づかせていただきました。また現状はかえられないけど、受けとり方でどんなにでも生き方をかえられるような気がしました。本日は母親研修会に参加できたことに感謝しています。



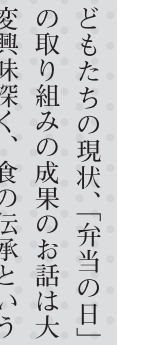
大町
ひじり学園P
中尾 瞳

研修会ではとても有意義な時間を過ごさせて頂きました。比良松先生のお話では、お弁当に沢山の可能性を教えて頂き、副田様のお話では、覚悟していたにもかかわらず最後まで涙が止まりませ



大町
ひじり学園P
中尾 瞳

えさせられるお話でした。幼児や小学生のうちから、料理の作り方を伝えていかなければ、一生自分で作ることも出来ないかもしれない。その必要性も感じないまま大人になっていくかもしれないと思えました。これからは忙しくてもいろいろなことを子どもたちに教えていきたいと思えます。



大町
ひじり学園P
中尾 瞳

どもたちの現状、「弁当の日」の取り組みの成果のお話は大変興味深く、食の伝承という言葉が心に残りました。また副田先生のプロの朗読は、心地よい声と素敵な詩に心打たれました。実体験からの子育て、孫育てのお話には勇気をもらいました。実り多い時間を皆様と共有できたことに感謝致します。

佐賀県教育週間 県P一斉取り組み活動

PTAみんなで 取り組みましょう!

ノーテレビ・ノーゲームデー

携帯からのアクセスは

・期日 平成30年11月1日(木)
・主催 佐賀県PTA連合会
・目的 この日は、テレビやゲームをやめて家族で子どもたちとふれあい、語り合う時間を工夫し、それぞれに楽しい時を過ごしましょう!

平成30年度 上期ジュニアマイスター顕彰

多彩な資格取得が可能!

北陵で専門の知識や技術を身に付けよう!

ゴールド 7名
シルバー 3名
ブロンズ 5名

学校法人江楠学園
北陵高等学校
9種類の学科やコースを設置した専門高校

電子科 電気科 建築科 土木科 自動車科(整備士コース・機械技能士コース)
航空科 生活文化科(介護福祉士コース・クリエイティブコース)

〒849-0921 佐賀市高木瀬西三丁目7番1号 URL <http://www.hokuryo.ac.jp>
TEL 0952-30-8676 FAX 0952-33-5524 E-mail info@hokuryo.ac.jp

最高の学習環境で 人間力を磨こう

「自分」をつくる。

さわやか佐賀学園を目指して ~勉強に、部活に、全力投球~
今年で創立60周年を迎え、校訓「創造・躍動・貢献」のもと、地域に信頼される学校を目指します。

学校法人 佐賀学園
佐賀学園高等学校
情報処理科 商業科 普通科 成瀬高等部 成瀬中学校

生徒募集
佐学セミナー 11月10日(土)
力をつけろ!力を試せ!
入試解説または模擬試験
※ 詳しい内容は別のチラシで案内します

〒840-0801 佐賀市駅前中央2丁目9-10(佐賀駅より徒歩4分)
TEL(0952)30-4281・FAX(0952)33-1540



子育て応援メッセージ

つながりー！
元気にあいさつ！笑顔でね

育もー！
食卓でつくる 家族の絆

受けとめようー！
子どもの心 メッセージ

私が子育てで大切にしていることは、意志決定を尊重することです。自分で決めた事であれば多少の困難も乗り越えられるし、万が一上手くいかなかったとしても、人のせいにならず、自身に振り返り考えることができると思うからです。安易に結論を出すのではなく、自分の人生を自分が思い描く人生に近づける為に、今本当に必要なことは何か、自分はその方向に向かって努力すべきなのかを考えて出した答えであれば、全力で応援するよ、といつも伝えていきます。

「転ばぬ先の杖」をつくる事が親の責任とは思いません。むしろ、先々その意志決定が正しくなかった事に気づき、後悔する時こそが、この子にとつてのターニングポイントであると信じているからです。今を大切に失敗を恐れず前進して欲しいと願います。

有明中P 岩石 純子

伝えようー！
感謝の気持ち ありがとう

見守りー！
地域ぐるみで 輪になって

話し合おうー！
ルールを守って 情報モラル

私は四人の子どもたちに恵まれ、子育て奮闘中です。子育てをする上で私なりに心掛け、子どもたちも実践している事がありません。それは、食事をする時に手を合わせ「いただきます。」食事を終えた後も手を合わせ「ごちそうさまでした。」と声に出して言う事です。食材への感謝、食事を作ってくれた人への感謝など気持ちが伝わってくるようで、子どもたちが幼い時から家族みんなで実践しています。また、できるだけ家族揃って食事をする事も心掛けていますが、子どもたちが成長するにつれ、学校や部活動で時間が合わず、上の子二人はアパート暮らしを始め、全員揃う事は、滅多にありません。でも、全員が揃った時は、手を合わせ「いただきます。」の音が響きます。

千代田中P 香田 真弓

三田川中学校のPTA活動

三田川中P
会長 鶴 恵美子

本校がある吉野ヶ里町は、佐賀県の東部に位置し、長崎本線、国道三十四号線、長崎自動車道が東西に貫いていて、町域は南北に細長い地形の町です。また、弥生時代の環濠集落遺跡が発見後、吉野ヶ里遺跡と命名され、現在の町名に由来しております。

私達のPTA組織としては、会長一名、副会長六名を含めた総務部を中心に、生活指導部、厚生部、母親研修部の三専門部が連携して活動しております。活動としては、厚生部による花植えや、母親研修部による受験前の三年生を激励する給食会などを行っています。

それらの活動の中でも、特に

江北小学校のPTA活動

江北小P
会長 小林 広和

本校がある江北町は佐賀県のほぼ中央部に位置しており、JR長崎本線・佐世保線の分岐点であり特急列車の停車駅である肥前山口駅を有し、かつ国道三十四号・二〇七号の分岐点でもあります。近年はアパートや宅地開発が活発であることもあり県内では珍しい生徒数が増加しており、本年度は五八〇名の小学校です。

私達のPTAでは①スマホ・

携帯に頼らない家庭生活②強い心と体を作る自立登校③元氣な挨拶ができるPTA④保護者と教師が手をつなぐPTA⑤早起・早寝・早起き・朝ごはんを活動目

特色ある単戸の活動
～神埼地区・杵島郡編～ Vol.54

生活指導部では、生徒の最終下校時間に合わせて、パトロールカーの上に青色回転灯を回転させながら、巡回パトロールを行っております。その青色回転灯を装備して巡回するためには、毎年神埼警察署の生活安全課にパトロール時の注意点について講習していただいております。受講後、発行して頂いた許可証を携帯した役員が同乗する場合のみ、パトロールカーに青色回転灯を使用することが許可されます。行う目的は

- ①不審者の防犯パトロール
- ②子供たちの交通安全マナー
- ③住民への防犯アピール

また、県内でも交通事故の多

い町内を全地域網羅しながら巡回することにより各地域の諸問題に気づき把握することが出来ます。

青色回転灯を回転させながらのパトロールが「生徒を守る」だけではなく、「犯罪を起こさなくいまちづくり」に繋がります。PTA会員が安心して生徒の帰宅を待てる環境を作り、安全に通学出来るよう、総務委員、地域に詳しい地区役員、そして先生方と一丸になって、週一回の巡回パトロールをこれからも継続していきたいと思っております。



登校をする子供たちを見守り、応援していただいております。

他にも毎年十二月には「風の子マソン大会」を保体委員会を中心となり開催して生徒たちは学年ごとにそれぞれの距離のマソンを頑張っています。自力登校の成果が出ているのか年々完走率が向上するだけでなく、最近では歩く子どもも少なくなり体力が向上していることを実感しています。

江北小学校PTAはこれからも生徒たちにとって一番身近な組織として保護者、先生、地域の方々と協力して活動して参ります。



また、各学期の始まりの一週間を学校前はもちろん各地区的に主要箇所を含めた町内各地でいさつ運動を行ってまいります。

佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様の「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先：**0120-228-553** 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン)
受付時間:平日午前9時～午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

2018年9月現在の内容です。